

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 7 月 11 日(2022.7.11)

【公開番号】特開 2022-10311(P2022-10311A)  
【公開日】令和 4 年 1 月 14 日(2022.1.14)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-006  
【出願番号】特願 2021-186035(P2021-186035)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 1 日(2022.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者の操作によって発射された遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を具備し、前記遊技領域に設けられる特定受入口に遊技球が入球することで所定の遊技利益を付与する遊技機において、

前記遊技盤に形成される所定領域に設けられる所定部材と、

前記所定部材と一体化されて設けられ、遊技球が通過可能な通路を形成する遊技球通路部と、を備え、

前記遊技球通路部は、

遊技球が流下可能な第 1 通路と、

前記第 1 通路と略並行に設けられ、遊技球が流下可能な第 2 通路と、

前記第 1 通路と前記第 2 通路との間に設けられる中間壁と、を有し、

前記中間壁は所定幅を有し、該所定幅は、前記第 1 通路および前記第 2 通路の通路幅の何れよりも狭く形成され、発射された遊技球を前記第 1 通路と前記第 2 通路とに分けるものであり、

さらに、前記中間壁の先端部分を保護しうる保護部を具備し、

前記保護部は、前記所定幅よりも広く形成された特定幅を有し、且つ前記中間壁の上流部分に設けられたものであり、

前記第 1 通路および前記第 2 通路の入口は前記保護部により構成され、

前記保護部は、前記第 1 通路もしくは前記第 2 通路へ遊技球を該保護部上に滞留させることなく流下させることが可能な特定形状で形成されており、

さらに、前記第 1 通路および前記第 2 通路は略透明に形成され、前記第 1 通路および前記第 2 通路を透して該通路後方の装飾が視認できる

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

## 【 0 0 0 2 】

従来より、遊技領域として、比較的弱い発射力で発射された（打ち込まれた）遊技球が流下する第 1 遊技領域（左打ち領域）と、比較的強い発射力で発射された（打ち込まれた）遊技球が流下する第 2 遊技領域（右打ち領域）が設けられ、遊技者操作により遊技球の発射力を変化させ、遊技球が流下する遊技領域を相違させて遊技進行させる遊技機が提案されている（例えば、特許文献 1 参照）。

## 【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 3

【 補 正 方 法 】 変 更

10

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 0 3 】

【 特 許 文 献 1 】 特 開 2 0 1 1 - 3 0 9 4 3 号 公 報

## 【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 0 4 】

しかしながら、従来のような遊技機では、遊技球の流下態様に新鮮さが無く、遊技興趣の低下を招く虞があった。

20

## 【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 0 6 】

上記の目的を達成するために、本発明は、

遊技者の操作によって発射された遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を具備し、前記遊技領域に設けられる特定受入口に遊技球が入球することで所定の遊技利益を付与する遊技機において、

30

前記遊技盤に形成される所定領域に設けられる所定部材と、

前記所定部材と一体化されて設けられ、遊技球が通過可能な通路を形成する遊技球通路部と、を備え、

前記遊技球通路部は、

遊技球が流下可能な第 1 通路と、

前記第 1 通路と略並行に設けられ、遊技球が流下可能な第 2 通路と、

前記第 1 通路と前記第 2 通路との間に設けられる中間壁と、を有し、

前記中間壁は所定幅を有し、該所定幅は、前記第 1 通路および前記第 2 通路の通路幅の何れよりも狭く形成され、発射された遊技球を前記第 1 通路と前記第 2 通路とに分けるものであり、

40

さらに、前記中間壁の先端部分を保護しうる保護部を具備し、

前記保護部は、前記所定幅よりも広く形成された特定幅を有し、且つ前記中間壁の上流部分に設けられたものであり、

前記第 1 通路および前記第 2 通路の入口は前記保護部により構成され、

前記保護部は、前記第 1 通路もしくは前記第 2 通路へ遊技球を該保護部上に滞留させることなく流下させることが可能な特定形状で形成されており、

さらに、前記第 1 通路および前記第 2 通路は略透明に形成され、前記第 1 通路および前記第 2 通路を透して該通路後方の装飾が視認できる

ことを特徴とする。

50